



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月26日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アクセル

コード番号 6730 URL <http://www.axell.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐々木 謙

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 千代 進弘

TEL 03-5298-1670

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,943	—	347	—	353	—	183	—
23年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 177百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	14.76	—
23年3月期第1四半期	—	—

(注) 平成24年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	—	%
24年3月期第1四半期	12,434	—	11,670	—	—	93.9
23年3月期	—	—	—	—	—	—

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 11,670百万円 23年3月期 1百万円

(注) 平成24年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期の数値については記載しておりません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	80.00	—	80.00	160.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,700	—	300	—	300	—	180	—	14.51
通期	8,200	—	950	—	950	—	550	—	44.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成24年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前年増減率については記載しておりません。

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) 株式会社ニューゾーン、除外 1社 (社名)  
(注)詳細は、添付資料P. 3「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料P. 3「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

#### (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	12,402,252 株	23年3月期	12,402,252 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	0 株	23年3月期	0 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	12,402,252 株	23年3月期1Q	12,402,252 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、平成23年7月26日(火)にアナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. （参考）四半期財務諸表（個別）	9
(1) （参考）四半期貸借対照表（個別）	9
(2) （参考）四半期損益計算書（個別）	10
第1四半期累計期間	10
(3) （参考）四半期キャッシュ・フロー計算書（個別）	11
5. 補足情報	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12
(2) 最近における四半期毎の業績の推移	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間は連結初年度にあたるため、業績及び財政状態の前年同四半期比較の記載は行っておりません。

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるものの、サプライチェーンの立て直しが進み生産活動が回復してきたことに伴い、景気持ち直しの動きが見られました。しかしながら、電力供給不足による経済活動の制約に加え、収束の見通しが立たない原子力災害や原油価格上昇など、景気が下振れするリスクが多数存在するとともに、欧州ソブリンリスクの再燃や海外経済の減速など、景気先行きの不透明感が一層強まる状況での推移となりました。

また、当社グループが属する電気機器業界におきましては、スマートフォン（高機能携帯電話）やタブレットPCなどのモバイル通信端末の堅調な需要に下支えされましたが、市場全体では慢性的なデフレの影響や個人所得の低迷などによる消費の抑制傾向から、本格的な回復には至らないままでの推移となりました。

現在、当社グループの中心的市場である遊技機器市場（注1）につきましては、低迷していたパチスロ機において人気回復の傾向が見られることや1円パチンコ等の低料金営業が幅広く定着したこと等により、遊技人口が増加するなど一部に明るい兆しも見えております。しかしながら、東日本大震災の影響に加え、個人所得の低迷や雇用環境への不安による節約志向の継続などから、全体として遊技費用をおさえようとする傾向が強まっており、遊技ホールの収益環境は厳しい状況が続いております。そのため、遊技機器の入替につきましても、集客力ある定番機種や大型企画などの一部機種に集中し、全体としての新台需要も引き続き低調に推移しているものと分析しております。

かかる環境の中で当社グループは、主力製品である遊技機器市場向けグラフィックスLSI（注2）製品（サウンド、LED（注3）制御等の機能を統合した製品を含む）を中心に各種製品の販売に注力いたしました。更には、遊技機器以外の組み込み機器市場（注4）に向けたグラフィックスLSI製品の採用拡大を図るとともに、100%出資子会社、株式会社ニューゾーン（以下、NZ社）においてデジタル簡易無線分野に向けた製品開発にも注力いたしました。

遊技機器市場向けグラフィックスLSI製品に関しましては、厳しい市場環境に加え当社製品を含む遊技機器構成部品のリユース（再使用）が本格的に浸透していることなどから、約31万個の販売にとどまりましたが、従来製品から高付加価値化を図った「AG-4」への移行が着実に進展いたしました。遊技機器市場に向けたその他製品に関しましては、サウンドLSI（注5）製品は機能統合化製品への移行や顧客の需要動向により前年同四半期に比較し販売数量は減少いたしました。また、LEDドライバLSI製品等は特定顧客の需要により前年同四半期を上回る販売数量となりました。また、組み込み機器市場向けグラフィックスLSI製品につきましても、新興国に向けた産業用機器の堅調な需要に牽引され、前年同四半期を上回る販売となりました。なお、当第1四半期連結累計期間より連結対象となりましたNZ社につきましては、当第1四半期連結累計期間における売上高はありません。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,943百万円となりました。販売費及び一般管理費に関しましては、NZ社においてデジタル簡易無線向けLSI製品の試作開発費を計上したことなどから研究開発費で468百万円、販売費及び一般管理費全体で742百万円の計上となりました。

以上により、当第1四半期連結累計期間における営業利益は347百万円、経常利益は353百万円、四半期純利益は183百万円となりました。

（注1）「遊技機器市場」とは、パチンコ機及びパチスロ機等の製造に係る市場を意味しています。

（注2）「グラフィックスLSI」とは、液晶表示装置等に表示を行うための当社LSI製品を意味しています。

（注3）「LED」とは、Light Emitting Diodeの略称です。導電することで発光する半導体素子を意味しており、発光ダイオードとも言われています。

（注4）「組み込み機器市場」とは、「広義の組み込み機器の中から遊技機器を除いたその他の機器の製造に係る市場」として使用しています。

（注5）「サウンドLSI」とは、デジタル化された音声データを再生するための当社LSI製品を意味しています。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、12,434百万円となりました。このうち流動資産合計は11,725百万円となり、その主な内訳は現金及び預金5,030百万円、売掛金1,653百万円、有価証券3,999百万円となっております。固定資産合計は708百万円となっております。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は763百万円となりました。このうち流動負債合計は749百万円となっております。その内訳は買掛金396百万円、その他353百万円となっております。固定負債は14百万円となっております。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、11,670百万円となりました。その主な内訳は、資本金1,018百万円、資本剰余金861百万円、利益剰余金9,771百万円となっております。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、9,029百万円となりました。当第1四半期連結累計期間の各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動により支出した資金は633百万円となりました。

これは主に、当第1四半期連結累計期間における税金等調整前四半期純利益(353百万円)に対し、売上債権の増加(800百万円)及びたな卸資産の増加(125百万円)、その他流動負債の減少(146百万円)等によるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動により支出した資金は110百万円となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出(96万円)及び無形固定資産の取得による支出(13百万円)等によるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動により支出した資金は889百万円となりました。

これは主に、配当金の支払(889百万円)によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期(第17期)の連結業績予想につきましては、平成23年4月26日付けにて開示いたしました「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」に記載のとおりです。

第17期第1四半期の連結業績は、概ね当初計画通りの推移となっており、公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間より、平成23年4月26日付けにて開示いたしました「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」に記載のとおり株式会社ニューゾーンの資産、損益等の状況に重要性が増したと判断したため、連結の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等の計上基準につきましては、法定実効税率をベースとした年間予想税率により計算しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第1四半期連結会計期間  
 (平成23年6月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	5,030
売掛金	1,653
有価証券	3,999
商品及び製品	331
原材料及び貯蔵品	0
その他	709
流動資産合計	11,725
固定資産	
有形固定資産	274
無形固定資産	132
投資その他の資産	301
固定資産合計	708
資産合計	12,434
負債の部	
流動負債	
買掛金	396
その他	353
流動負債合計	749
固定負債	
資産除去債務	10
その他	3
固定負債合計	14
負債合計	763
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,018
資本剰余金	861
利益剰余金	9,771
株主資本合計	11,651
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	18
その他の包括利益累計額合計	18
純資産合計	11,670
負債純資産合計	12,434

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	1,943
売上原価	852
売上総利益	1,090
販売費及び一般管理費	742
営業利益	347
営業外収益	
受取利息	1
受取配当金	1
還付加算金	2
その他	0
営業外収益合計	6
営業外費用	
固定資産売却損	0
固定資産除却損	0
その他	0
営業外費用合計	1
経常利益	353
税金等調整前四半期純利益	353
法人税等	170
少数株主損益調整前四半期純利益	183
四半期純利益	183

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間  
(自 平成23年4月1日  
至 平成23年6月30日)

少数株主損益調整前四半期純利益	183
その他の包括利益	
其他有価証券評価差額金	△5
その他の包括利益合計	△5
四半期包括利益	177
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	177
少数株主に係る四半期包括利益	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間  
(自 平成23年4月1日  
至 平成23年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	353
減価償却費	51
受取利息及び受取配当金	△3
売上債権の増減額 (△は増加)	△800
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△125
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△115
仕入債務の増減額 (△は減少)	△33
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△146
その他	184
小計	△636
利息及び配当金の受取額	3
法人税等の支払額	△0
営業活動によるキャッシュ・フロー	△633
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△96
無形固定資産の取得による支出	△13
その他	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△110
財務活動によるキャッシュ・フロー	
リース債務の返済による支出	△0
配当金の支払額	△889
財務活動によるキャッシュ・フロー	△889
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,633
現金及び現金同等物の期首残高	10,427
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	236
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,029

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

#### 4. (参考) 四半期財務諸表 (個別)

この四半期財務諸表 (個別) は、四半期財務諸表等規則に基づき当社が任意で作成したものです。

##### (1) (参考) 四半期貸借対照表 (個別)

(単位：百万円)

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,428	4,937
売掛金	853	1,653
有価証券	3,999	3,999
商品及び製品	206	331
原材料及び貯蔵品	0	0
その他	910	701
流動資産合計	12,398	11,624
固定資産		
有形固定資産	217	274
無形固定資産	152	132
投資その他の資産	564	551
固定資産合計	934	958
資産合計	13,332	12,582
負債の部		
流動負債		
買掛金	429	396
その他	390	315
流動負債合計	819	711
固定負債		
資産除去債務	7	10
その他	4	3
固定負債合計	11	14
負債合計	831	725
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018	1,018
資本剰余金	861	861
利益剰余金	10,596	9,957
株主資本合計	12,477	11,838
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	24	18
評価・換算差額等合計	24	18
純資産合計	12,501	11,856
負債純資産合計	13,332	12,582

## (2) (参考) 四半期損益計算書 (個別)

(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	1,738	1,943
売上原価	801	852
売上総利益	937	1,090
販売費及び一般管理費	811	573
営業利益	125	517
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	1	1
還付加算金	—	2
その他	0	1
営業外収益合計	4	7
営業外費用		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	0	0
その他	—	0
営業外費用合計	0	1
経常利益	130	523
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1	—
特別損失合計	1	—
税引前四半期純利益	128	523
法人税等	49	170
四半期純利益	79	353

## (3) (参考) 四半期キャッシュ・フロー計算書 (個別)

(単位: 百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	128	523
減価償却費	54	51
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1	—
受取利息及び受取配当金	△3	△3
売上債権の増減額 (△は増加)	△442	△800
たな卸資産の増減額 (△は増加)	122	△125
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△5	△115
仕入債務の増減額 (△は減少)	△182	△33
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△62	△181
その他	△59	192
小計	△449	△493
利息及び配当金の受取額	3	3
法人税等の支払額	△1,130	△0
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,576	△490
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1	△96
無形固定資産の取得による支出	—	△13
その他	—	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1	△110
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,030	△889
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,030	△889
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,609	△1,490
現金及び現金同等物の期首残高	13,309	10,427
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,700	8,936

## 5. 補足情報

### (1) 生産、受注及び販売の状況

当第1四半期連結累計期間より連結の範囲に含めている株式会社ニューブーンは、当第1四半期連結累計期間における売上高はありませんので、株式会社アクセルにおける生産、受注及び販売の状況を記載しております。

#### ①生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績は次のとおりであります。

区分	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	前年同期比 (%)
遊技機器市場向LSI製品 (百万円)	1,977	144.6
組み込み機器市場向LSI製品 (百万円)	91	109.5
その他 (百万円)	34	208.5
合計 (百万円)	2,103	143.4

- (注) 1. 金額は販売価額によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### ②受注実績

当第1四半期連結累計期間の受注実績は次のとおりであります。

区分	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)			
	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
遊技機器市場向LSI製品	1,881	81.8	2,111	64.9
組み込み機器市場向LSI製品	55	88.8	50	77.4
その他	49	787.5	27	2,946.3
合計	1,986	83.9	2,189	65.9

- (注) 1. 金額は販売価額によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### ③販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績は次のとおりであります。

区分	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	前年同期比 (%)
遊技機器市場向LSI製品 (百万円)	1,821	110.3
組み込み機器市場向LSI製品 (百万円)	95	120.7
その他 (百万円)	25	335.4
合計 (百万円)	1,943	111.8

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
2. 前第1四半期累計期間及び当第1四半期連結累計期間の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)
緑屋電気株式会社	1,663	95.7	1,807	93.0

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 最近における四半期毎の業績の推移

平成24年3月期

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	第1四半期 23年4月～23年6月	第2四半期 23年7月～23年9月	第3四半期 23年10月～23年12月	第4四半期 24年1月～24年3月
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	1,943	—	—	—
売上総利益	1,090	—	—	—
営業利益	347	—	—	—
経常利益	353	—	—	—
税金等調整前四半期純利益	353	—	—	—
四半期純利益	183	—	—	—
四半期包括利益	177	—	—	—
1株当たり四半期純利益	14.76円	—	—	—
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
	百万円	百万円	百万円	百万円
総資産	12,434	—	—	—
純資産	11,670	—	—	—
1株当たり純資産	940.99円	—	—	—